

事務事業名 防災訓練事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：553

施策：	20	防災・減災対策の推進	財務コード	01080104-02-460
基本事業：	02	災害対応力の向上	担当部	総務部
基本事業の成果指標	福祉避難所指定箇所数 避難行動要支援者の個別避難計画策定割合		担当課	危機管理課（消防）
			担当係	危機管理担当（消防）



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
・市民、市職員、防災関係機関			毎年9月1日の防災の日を目安に筑紫野市と太宰府市の合同で総合防災訓練を実施し、防災関係機関との連携体制を確認する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【令和5年度筑紫野市・太宰府市合同総合防災訓練の実績】 実施日：令和5年9月1日 場所：諸田多目的グラウンド 参加機関：筑紫野市・太宰府市・筑紫野太宰府消防組合消防本部・福岡県筑紫野警察署・筑紫野市消防団・太宰府市消防団・二日市東コミュニティ運営協議会・航空自衛隊春日基地（西部航空警戒管制団）・九州電力（株）福岡南配電事業所・西日本電信電話（株）九州支店・筑紫ガス（株）・（一社）筑紫医師会・筑紫野市土木協同組合・筑紫野市建設業協力会・筑紫地区消防設備協会・筑紫地区防災協会・筑紫野市婦人防火クラブ 【訓練内容】地震対策訓練及び風水害対策訓練						
福岡県地域防災計画、筑紫野市地域防災計画に基づき、筑紫野市、太宰府市防災関係機関及び、地域住民が一体となって総合的な防火訓練を実施することにより防災意識の高揚が図られるとともに、防災関係機関で緊急時の連絡体制が強化される。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
参加関係機関数		団体	17	17	20				
参加者数		人	330	244	430				
5. コスト									
事業費		計	千円	143	78	450	150		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	143	78	450	150				
正職員人工数		人工	0.05	0.05	0.05				
正職員人件費		千円	391	401	419				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	534	479	869	150			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	<状況>令和6年度は太宰府市が当番市として、太宰府市筑紫野市合同で防災訓練を実施した。								
どちらかといえばあがっている	【令和6年度太宰府市・筑紫野市合同総合防災訓練（防災フェスタ）】 実施日：令和6年9月1日 場所：太宰府市総合体育館（とびうめアリーナ） 【訓練内容】 「触れる」「体験」する市民参加型のイベントとして開催								
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
備考・特記事項 or 進行管理欄				関東大震災を契機に9月1日を「防災の日」に設定し、全国的に開催されている。 各地で大規模災害が発生していることから、市民の防災意識も高まっている。					